

第12回 石狩川上流減災対策協議会

今後5か年で実施する取組予定

令和8年3月4日

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V	<ul style="list-style-type: none"> 流下能力が不足する3川合流点付近を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①流下能力が不足する地区を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施する予定 ②河岸侵食リスクを鑑み適切な侵食対策を実施する予定 						
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫リスクの高い区間において、粘り強い堤防(堤防天端の舗装、堤防裏法尻の補強)の整備を実施。 	-						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計の水位情報や簡易型河川監視カメラ画像を確認出来る「川の水位情報」を提供 直轄河川の上流から下流まで連続的に、洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」を提供 	①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後も改良予定						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	<ul style="list-style-type: none"> 洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置 	①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定						
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	<ul style="list-style-type: none"> 洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置 	①継続して実施予定						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・流域全市町村におけるタイムライン(簡易版)作成 ・タイムラインの実践やタイムラインを用いた研修等において精度向上を図る	①継続した避難勧告型タイムラインの周知や運用を行い、必要に応じて見直しを行うなど精度向上を図る						
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
	③わかりやすい洪水予報文への改良を行う	A、N	・避難の切迫性が確実に伝わるよう主文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れがある地域表示を想定最大規模の洪水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付けるなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応じた洪水予報文の改良を行う予定						
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・石狩川、忠別川、美瑛川、辺別川、牛朱別川、オサラッペ川、牛朱別川、永山新川の洪水浸水想定区域図等の作成・公表	①必要に応じて見直しを予定						
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・ハザードマップ等作成のための支援として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定						
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・周知や利活用の促進を図るため、ハザードマップポータルサイトや地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)へ洪水浸水想定区域等データを登録	①ハザードマップの活用促進に向けて事例提供等の支援を実施予定						
	④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・モデル校において、作成した指導計画に基づく防災授業を実施。 ・指導計画について、協議会内で共有。	①自治体からの意見を集約し防災教育素材を整理予定 ②小中学校で活用しやすいようにHP等で素材を共有予定						
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・旭川市、鷹栖町、美瑛町にて、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練、樋門操作訓練等を実施	①勉強会、研修会等を実施予定 ②排水ポンプ車の設置訓練などを実施予定						
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定						
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G、J	・対象外となっている地区の図面を作成し、自治体に提供	①対象外となっている地区の情報提供及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定						
	⑧視覚的・体感的な情報ツール等(プロジェクションマッピング等)を用いた、主体的な避難行動に資する情報の提供	F、N	-	①イベント、防災訓練等を活用し実施する予定						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(石狩川流域圏会議)	①豪雨災害対策職員研修(石狩川流域圏会議)などの支援を実施予定						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行う予定						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・浸水想定区域公共施設成図(水位観測所、警察、病院、避難所等)を自治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及び避難時の課題抽出	①必要に応じて提供情報の更新を実施予定						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法を説明予定						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定						
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・湛水時間24時間以上となる箇所全てを抽出し、石狩川上流排水計画ハンドブック及び石狩川上流域・ポンプ式進入ルート図(水系全体)作成(R2.3完成)	①排水作業準備計画の更新を実施、各関係機関に提供予定						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A		大雨浸水・洪水のキキクルなど防災気象情報をスマートフォンやホームページを活用したリアルタイム情報の提供を引き続き行う。また、情報の改善を行う。						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N		洪水予報伝文等の改良を引き続き行う。						
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	学校安全推進会等において教職員向けに講演及び一日防災学校等において小中学生を対象に講演等を実施する。	関係機関と協力し一日防災学校等の防災教育を継続して実施する。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関・自治体が主催する防災訓練、防災教室等において講演等を実施する。	関係機関と協力し防災訓練等を継続して対応する。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをととして気象防災普及啓発を進める。	防災フェア・コミュニティFM・気象庁ホームページ等により気象防災に関する普及啓発を引き続き実施する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップを実施する。	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップ等を継続して実施する。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会席上において気象災害事例等の情報提供を行う。	気象災害等の情報提供を引き続き行う。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V	堤防整備、河道掘削、護岸、構造物改築、伐木を実施	引き続き実施する。						
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V	堤防の天端舗装を実施(計画区間は完了)	未定						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計の設置(R元年度で完了)	未定						
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着眼したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を作成。	未定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の企画・実施支援	引き続き、地域の要望等を踏まえながら、1日防災学校の企画・実施支援等に取り組む。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・各種研修会の開催 ・市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援	引き続き、必要な訓練の実施の他、地域の要望等を踏まえながら、各種研修会の開催や、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・必要に応じた関係機関との調整。	引き続き、地域の要望等を踏まえながら、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施する。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援 ・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	引き続き、市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	引き続き、本協議会を通じて情報共有を実施。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学生を対象に防災講話を実施。	小中学生を対象に防災講話を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水害が予想される地域の交番連絡協議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対して防災訓練(水害含む)を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、啓発活動を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・警察署毎に市町村防災担当者との情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・警察署毎に市町村防災担当者との譲歩共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D									
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'									
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N									
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K									
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K									
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J									

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村が実施する防災訓練に参加した。 ・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	①市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をする予定。 ②本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予定。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A									
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	-								
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	-								
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	—	重要水防箇所A(工作物)について河川管理者、橋梁管理者、市町村担当者と共同点検を実施。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A								
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U								
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・北海道の「避難情報の発令判断・伝達マニュアル」の更新や令和8年度中に行われる防災気象情報の変更を受け、当市のマニュアルの改定に向けて検討を進めた。	・「避難情報の発令判断・伝達マニュアル」について改定を行うとともに、出水期前に内容の確認を含め、必要に応じて見直しを実施する。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・マイタイムラインについて掲載した「旭川市避難マニュアル」について、市ホームページに掲載するとともに、防災講習等で配付し、周知を図った。 ・防災講習等の際に、マイタイムラインの作成について支援を行った。	・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や作成の支援を随時実施する。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を地域防災計画に定め、情報伝達体制を構築(毎年修正)。	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を精査し、避難確保計画未作成の施設に対して、作成し報告するよう通知する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・毎年避難行動要支援者名簿を更新し、避難支援等関係者に名簿を提供した。	・避難行動要支援者名簿を毎年更新するとともに、避難支援等関係者に対して、個別避難計画の作成等について普及啓発を行う。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・中小河川における浸水想定、雨水出水想定を追加した新しいハザードマップを作成した。 ・旭川大雪圏域連携中枢都市圏を構成する1市8町において、広域避難も含めた防災体制の連携、相互応援体制の構築を図るための意見交換を毎年行った。	・新しいハザードマップに基づく浸水想定を考慮し、避難場所の見直し等を行う。 ・広域避難等について、近隣市町村と相互応援体制の構築を図るための意見交換を行う。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・気象警報発表時等に、HP・SNSで迅速に情報提供した。 ・各種情報伝達手段に一齐配信が可能旭川市災害時緊急情報配信システムを構築した。	・旭川市災害時緊急情報配信システムの操作について、担当職員間での周知を図るほか、適宜、新たな情報伝達手段について検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまごごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまごごとハザードマップの管理を行った。	・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・行動方法の普及啓発に取り組む。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・R3～R7の5年間で延べ10校の小学校において1日防災学校を実施した。	・関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施する。 ・関係機関と連携した効果的な訓練を実施する。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発実施した。 ・R6年1月に旭川市避難マニュアル(市民用)を改定した。	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発を実施する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施する。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・旭川市災害対策本部訓練を実施した。	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加する。 ・出水期に向けて、関係部局の職員と旭川市災害対策本部訓練を実施する。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有する。 ・減災対策部会等で情報を共有。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	・水防協力団体の募集の手法等について検討する。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・防災訓練や各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・防災訓練や消防本部主催行事の他インターネットツールを活用して消防団員の募集を周知する。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認する。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・市所有の排水ポンプの操作訓練を実施した。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施する。 ・引き続き水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施する。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施する。 ・水道局において引き続き内水排除作業箇所の確認及び一部水位計を設置する。						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	防災講習及び1日防災学校等において重要性及び作成要領等の普及を実施	先行事例として北斗・北成地区を対象に作成サポートを検討。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	該当無し。	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	関係者との調整等により名簿の整備を継続	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	防災協定先の自治体との間で広域避難連携の必要性について共有	有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS(Facebook、ツイッター、LINE)、防災無線を整備した。	各種SNS並びに防災無線の戸別受信機を活用した情報発信の定着。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年11月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	小学生親子を対象とした防災イベントを実施。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	地域防災力向上セミナーを開催。	①地域防災力向上セミナーを開催 ②関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区(河川)について、関係機関及び地域住民との情報共有を行う。						

項目	事項	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況				
				令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
3) 洪水氾濫被害軽減のための確かな水防活動に関する取組								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項								
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。				
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。				
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。				
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。				
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。				
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項								
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組								
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組								
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。				
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者の連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	①関係者(旭川河川事務所)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。				
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	釜場の整備、内水常襲箇所の把握を行った。	内水常襲箇所の状況把握を実施予定。				

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインの見直し及び訓練の実施について検討	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・マイタイムライン作成サポート計画の策定検討	マイタイムラインの作成サポート計画に係る立案検討の実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・関係機関・部署との連携体制の確認	①地域防災計画の見直し ②要配慮者利用施設における避難確保計画策定 ③要配慮者利用施設における避難訓練の実施						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・関係機関・部署との連携体制の確認	①個別避難計画の策定促進 ②避難訓練の実施						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討	①意見交換を実施 ②広域避難の検討						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・情報伝達手段の検討	・SNS等における情報発信の強化と周知ツールの拡充						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・令和5年度に更新	・新しい防災気象情報と警戒レベルに対応したハザードマップの更新を検討						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・3Dハザードマップ及び公開型GISの整備	①住民向けに3Dハザードマップを活用した説明会等の実施 ②公開型GISの利用促進策の検討						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携した出前講座の実施	・小学校における1日防災学校や防災教育プログラムの継続実施						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・防災教室や防災イベントの実施	①防災教室やセミナーの継続開催						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報手段の検討	・多言語対応を検討						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外地区の調査、把握	・危険箇所継続的な確認、調査の実施						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確かな水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・未実施	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施検討						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加 ・関係機関主催の勉強会への参加	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修・勉強会に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有 ・減災対策部会等で情報の共有	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ等での募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ等での募集	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討	①重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を引き続き実施						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認 ・小型排水ポンプ機器の整備	①減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・小型排水ポンプ機器の整備	①小型排水ポンプ機器の管理・操作訓練を実施予定。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握	①計画の見直し ②内水ハザードマップの作成検討						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインはH29年度に作成済み	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインの作成サポート計画に係る立案検討の実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画の作成の検討の実施						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS、IP告知端末、有線屋外スピーカーにより情報伝達の実施	情報伝達手段における多言語対応の検討の実施						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R元年12月に住民に配布(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	まるごとまちごとハザードマップの作成に係る立案の検討の実施						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確実な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・試行運用タイムラインの作成	・見直しを検討予定。 ・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練の実施を検討する。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・住民による作成サポート計画を立案予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者(高齢者、障がい者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討。	・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ・避難訓練実施の検討する。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町と広域避難計画について検討する。	・引き続き、近隣市町村と広域避難計画を検討する。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッターなどを整備した。	・ツイッターの多言語化を検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民に配布した。(ホームページにも掲載)	・ハザードマップの更新予定。 ・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	・引き続きまるごとまちごとハザードマップの作成を検討。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災授業を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に防災授業を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・北海道の協力により、町職員等を対象とした防災訓練を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に町職員及び住民を対象の防災訓練を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報誌、ホームページに掲載した。	・引き続き広報誌、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を検討した。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・北海道市町村防災力強化専門研修等に参加。 ・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加を検討した	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。						
		④広報紙やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。						
		⑤広報紙やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内に、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握した。	・引き続き想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内の状況を確認し、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った。	・引き続き、減災対策部会や研修会等で方法等を確認する。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ機器の整備等について検討した。	・迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプユニット等の操作訓練を行う。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。	・引き続き、旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目したタイムラインの作成を検討。	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目したタイムラインの作成に向けた検討を行う。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・住民による作成サポート計画案の作成に向け、検討した。	・住民による作成サポート計画案の作成に向けた検討を行う。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定済。	・避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び計画に基づく避難訓練の実施に向けた検討を行う。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿を更新し、個別避難計画を引き続き作成。	・高齢者の確実な避難計画の作成及び計画に基づく避難訓練の実施に向けた検討を行う。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画を引き続き検討。	・引き続き広域避難計画の検討を行う。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・愛別町アプリ(aiガイド)やFM告知端末、データ放送、各種SNS(LINE)を活用した情報発信の実施。	・愛別町アプリ(aiガイド)やFM告知端末、データ放送、各種SNSを活用した情報発信の充実を図る。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・転入者へのハザードマップ配付及び地域防災訓練でのハザードマップの説明を実施。	・転入者へのハザードマップ配布及び地域防災訓練でのハザードマップの説明を実施する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・中央地区を対象に防災講話会を実施し、ハザードマップの活用方法について住民に説明した。	・地域防災訓練について継続して実施する。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座のメニューとして体制を構築済み。	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座のメニューとして体制を構築済み。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・防災講話会において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、大雨災害や防災気象情報、防災情報の入手について参加住民に説明した。	・引き続き防災講和会を開催し、水防災に対する意識醸成を図る。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段の検討。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段の検討。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確かな水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	-	・共同点検の実施再開に向け協議を進める。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加。 ・その他各種研修会への参加。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川上流減災対策部会において確認・共有を行った。	・引き続き減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	-	・水防協力団体の現状を整理し、新たな募集・指定に向け検討を行う。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙やHP、FM告知端末による町内放送等を活用し、消防団員の募集を実施。	・広報紙やHP、FM告知端末による町内放送等を活用し、消防団員の募集を継続実施。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について検討を行った。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討を行っていく。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	-	・減災対策部会や研修会等において排水ポンプ車の要請方法等を確認する。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	-	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H29年度にタイムライン作成完了。 ・令和元年度に発災直後からの業務分担も含めた業務継続計画を策定	H29年度作成のタイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインのひな形を作成し、地域住民に普及啓発を検討実施する。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。 【平成28年度から検討・実施】 平成31年3月に、災害時要支援者リスト表示システム導入	避難行動要支援者にたいする個別計画の更なる策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	担当課にて避難行動要支援者の名簿更新作業を実施。 R5.3月に個別避難計画の作成。	避難行動要支援者名簿の更新業務						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画の検討 【平成31年度から検討・実施】	・近隣市町村との具体的な調整を検討予定。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・エリアメールについて引き続き活用。 ・防災行政無線(同報系)親局と中継局を設置 ・多言語放送に対応した支局(屋外拡声器)を設置 ・個別受信機の配備(180台)	ツイッター、上川町公式LINE等SNSでの情報発信内容の検討。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの検討・作成を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえたハザードマップ等の検討・実施。 ・ハザードマップを他部署に設置	ハザードマップの更なる周知や施設への設置範囲の拡大を検討。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模の洪水ハザードマップとの整合や、インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた、まるごとまちごとハザードマップの検討を実施。	まるごとハザードマップの作製・設置を検討実施予定。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、防災教育の出前講座を実施した。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・避難時の水防災に関する意識向上のための講習会の実施の検討。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・イベント開催時に合わせた啓蒙活動を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。	引き続き、インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F		ハザードマップの空白地についての対応検討予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確かな水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施する。 【引き続き実施】	毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施検討。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会等で水害対応力の向上を図る。 ・石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加。	石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を行う。【引き続き実施】	減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集・指定の促進を検討・実施。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。 【引き続き実施】	引き続き、ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施	迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施予定。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施	緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。						

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH30年7月に作成済み。	①R8年度(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R8年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R8年度以降は計画に基づきサポートを全自治振興区で実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載されていることを確認した。(10カ所) ・そのうち、6カ所の施設について、避難確保計画策定、避難訓練を実施した。	①R8年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R8年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R9年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討する。	①R8年度は有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、防災無線を整備した。	R3年度以降にタブレット端末の貸与を含め、スマートフォン等による情報伝達手段を構築を継続予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	R7年度以降、まるごとまちごとハザードマップを作成予定。						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・副読本の作成支援した。	作成した副読本を基に出前事業を実施継続予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、効率的な訓練の検討	各自治振興会でDIG,HUG訓練を予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災ハザードマップ(冊子)、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区の住民を含め説明会を実施予定。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関との勉強会に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンによる操作訓練を実施。	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンによる操作訓練を実施予定。						
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握した。	R8年度にため池ハザードマップを作成予定。						

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や重水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・「美瑛町防災ガイドブック」にタイムラインを掲載	・必要に応じて見直しを実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を実施した	・引き続き、普及啓発を行う						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定完了	・避難確保計画をもとに体制の構築等及び避難訓練の実施						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新	・避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成継続 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難について、検討中	・広域避難について検討を継続する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信 ・令和5年より、防災行政無線及び公式LINEにおける避難指示を英語を併用開始、その他の多言語をを検討中	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信を継続 ・避難指示等の多言語をを検討中						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・令和2年に更新し、HP等で周知	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討継続。 ・多言語対応のハザードマップの検討	・まるごとまちごとハザードマップの作成の可否を検討。 ・多言語対応のハザードマップの検討						
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災に関する情報を随時、広報に掲載した。	・防災に関する情報を随時、広報に掲載する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握し、啓発活動を実施した。	・対象外となっている地区を把握し、啓発活動を実施する。						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図った。	・減災対策協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図る。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図った。	・減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・引き続き効果的な対応を検討した。	・引き続き効果的な対応を検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・引き続き、水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・引き続き、減災対策協議会や研修等において確認・共有を行う。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・各消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施した。	・関係者(JA、消防団、建設業協会)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害想定箇所の把握を実施した。	・内水被害想定箇所の把握を継続する。 ・雨水取水想定箇所の把握を予定						